

第 4 回検討委員会における委員意見への対応

1. 施設整備の考え方、周知・啓発等に関する意見

発言者	項目	意見	対応
今村 委員長	既存施設の 活用	荒浜小のような当時指定避難場所であるが、現在使えない建物を、今後使える施設にするのか、震災遺構として残すのか整理してほしい。	既存の建物の復旧、活用について関係部局と調整し、検討する。
折腹 委員	既存施設の 活用	「公共施設等」の中には民間の建物との協力も想定しているのか。	特に、仙台港周辺の地域については、現地再建等の状況を調査した上で、避難施設として、民間事業所との協定等を検討する。
	避難計画作成	町内会等に対する要援護者名簿作り等の意識づけを検討に加えて欲しい。	地域の方に避難計画を作成していただく際に、災害時要援護者避難支援プランを参考にいただき、要援護者名簿作り等の意識づけを検討したい。
越村 委員	避難対策	示されたフローは、情報伝達側の体系である。地震が起こればすぐ避難の実践といった、住民に対応したフローがあるとよい。	素案：「第 4 章 周知・啓発等に関する事項（暫定案）」で、情報の受け手側の体系図を提示する。
齋藤 委員	避難計画作成	地域によって差がある中で、地域の避難計画に基づいた避難を優先できるのか。地域の避難計画作成に対し、どのような支援を想定しているか。	避難計画の作成に対し、作成の手引きの配布や、アドバイザーの派遣等を検討する。また、避難計画に基づいた避難訓練が実施できるよう、訓練計画のアドバイスや、訓練での人的支援を検討する。
佐藤(美) 委員	行動「避難する」	今回の地震で、小学校までは逃げたが、上までは逃げなかった方がいたことが残念であった。前年のチリ地震津波のときは、どこに避難してよいか分からなかった、という地域の方の意見があった。	地域ごとに、避難場所、手段、経路を明確にさせていただくとともに、高台や避難施設までの誘導方法を検討する。 素案：「第 4 章 4.2 行動：「避難する」」、「第 4 章 4.3 啓発：「知っておく」」で整理する。

発言者	項目	意見	対応
増田 委員	早期整備の 考え方	集団移転やかさ上げ道路などの整備途中に避難施設整備が完了するため、早期整備のあとに「整備見直し」を入れたほうがよい。	今回の検討において、かさ上げ道路整備後の浸水深や集団移転後の人口等との整合を図っているが、表現方法も含め検討する。
	避難計画作 成	建物の倒壊等で「逃げる ことができない」という個人からの発信は どうするのか。	建物の耐震化や、家具の転倒防止等、防災に対する周知、啓発を通じて、建物が倒壊しないような対策を行う。

2.避難行動シミュレーションの概要に関する意見

発言者	項目	意見	対応
越村 委員	道路ネット ワーク	前提条件の記載はある が、交差点での通行条件等も示し、動画等で見せてほしい。	第 5 回検討委員会資料 2 で対応する。
	ケース 1 渋滞状況図	渋滞状況図のグレーは 何を表しているのか。 突然赤になるのは手前 の交差点を迂回しており 自動車がいないから か。 →（今村委員長）迂回 の判断も資料に入れて ほしい。	迂回の判断等の条件設定に関し、第 5 回委員会資料 で提示する。
佐藤(健) 委員	ケース 1 避難完了率	4 5 分で 3 割程度の車 が避難完了できなかった とのことだが、どの 属性の方が避難できな かったかという情報は あるか。	自動車避難する場合、より海岸に近い方、駐車場 から出られなかった方等の避難完了が遅れている ため、徒歩での避難、早目の避難を促す。
武田 委員	ケース 2 条件設定	ケース 2 の自動車避難 を抑制した場合は、ど この方を抑制したの か。抑制するのはかな り難しいと感じる。	海岸公園利用者、集落の方の自動車利用を抑制し た。今回のシミュレーション結果も参考に、自動車 避難の危険性と併せて、避難ルールを守って避難し ていただくことを周知啓発する。

発言者	項目	意見	対応
徳永副 委員長	ケース 1 解析結果	1 分間に 29 台の通行は渋滞が発生せず、うまく通行している状態だと感じる。渋滞が発生し容量が低下したという現象をうまく再現できているか。	シミュレーションの条件、解析結果について、今回のシミュレーション条件に反映させる。
	対象地域外の検討	今回のシミュレーションの条件は、対象地域を出た先についても理想的条件になっている。そのことをどこかに記載しておく必要がある。	素案：「資料編 避難行動シミュレーション」等に東部道路から先の条件について明記する。
増田 委員	フロー	ケースを設定し、解析を行うのに時間はかかるのか。可能であれば色々なバリエーションで解析し効果を検証してほしい。	まず、避難行動を守って避難すれば全員が避難可能であることをシミュレーションで示す。その後、想定外の行動による渋滞等を考慮した解析を検討し、自動車避難の危険性、避難ルールの徹底を周知する。
	避難開始地点	各地域から、時間の経過とともに、どのくらいの方が出て、どのくらいの方が残っているのか、円グラフのようなもので示してほしい。それが分かれば、「この地域はもっと早い避難開始が必要である」といった議論ができる。	自動車の渋滞状況や、徒歩等の混雑状況等から判断できるため、これらを第 5 回検討委員会資料 2 で別途提示する。